

日本語と韓国語の感情形容詞の連体修飾用法の対照研究

権 裕羅

DOI: 10.18999/stul.34.93

1. はじめに

本研究は感情形容詞の連体修飾用法(以下、連体用法)における日本語と韓国語の違いについて論じるものである。(1)～(4)は日本語と韓国語の連体用法が対応している例である。(1a)の「プレゼント」は「嬉しい」という感情の対象、(2a)の「人」は「嬉しい」という感情の感情主体(経験者)、(3a)の「気持ち」は感情の上位語、(4a)の「顔」は感情の表出物を表し、「嬉しい」はそれらを限定している。この場合、韓国語でも(1b)～(4b)のように使われる。

(1)a. 嬉しいプレゼント

b. 기쁜 선물

(2)a. 嬉しい人

b. 기쁜 사람

(3)a. 嬉しい気持ち

b. 기쁜 마음

(4)a. 嬉しい顔

b. 기쁜 얼굴

しかし、次のように、日本語と韓国語で連体用法が対応しない場合もある。

(5)a. *監督は選手と嬉しいいグを交わした。

b. 감독은 선수와 기쁜 포옹을 했다.

(6)a. *私は時々悲しい寂しさを感じる。

b. 나는 때때로 슬픈 외로움을 느낀다.

韓国語で、(5)の「기쁜 포옹(嬉しいハグ)」は、嬉しい状態で交わすハグを意味し、(6)の「슬픈 외로움(悲しい寂しさ)」は、悲しい気分を伴った寂しさを意味する。しかし、日本語で「嬉しいハグ」、「悲しい寂しさ」というのは不自然である。

以上のように、日本語と韓国語の感情形容詞は連体用法において、対応する場合とそうでない場合がある。そこで、本研究では先行研究の感情形容詞の連体用法の分類を参考にしながら、日本語と韓国語の感情形容詞と被修飾名詞の意味関係のタイプを整理し、日韓の感情形容詞の連体用法の共通点と相違点を明らかにする。

2. 先行研究

2 節では、感情形容詞の連体用法に関する先行研究を概観する。2.1 節では日本語の感情形容詞の連体用法の分類に関する先行研究を、2.2 節では韓国語の感情形容詞の連体用法の分類に関する先行研究をまとめ、2.3 節で先行研究の問題点を指摘する。

2.1 日本語の感情形容詞の連体用法に関する先行研究

まず、連体修飾節と被修飾名詞の統語的・意味的關係についての先行研究を見る。寺村(1992)は、表面的に同じように見える連体修飾構造でも、その「限定・修飾」のしかたに違ったタイプのものがあることを論じている。次の(7a)、(8a)の修飾部と底の名詞との結びつきは、構文・意味のどちらの面から見ても性質の違うものとされている。

(7)a. 晩年の検校が記憶の中に存していた彼女の姿

b. →彼女の姿が¹晩年の検校が(=の)記憶の中に存していた。

(または:晩年の検校が彼女の姿を記憶中に……)

(8)a. 宮女たちが群って水を掬み、布を洗っていた姿

b. →*(その)姿{が/を/に/…}…宮女たちが……洗っていた。

(寺村 1992:193, 194)

¹ 寺村(1992)では文字の下に点が付いている。

寺村(1992)は、(7)のように底の名詞に格助詞を付けて修飾部の用言と結び付けることができる関係を「内の関係」と呼び、(8)のように底の名詞にどのような格助詞を付けても修飾部のどこにも納めることのできない関係を「外の関係」と呼んでいる。また、「内の関係」の(7a)の場合、「彼女の姿」(底の名詞)がどのような姿であったかその連体修飾構文から分からないが、「外の関係」の(8a)の場合は、「姿」(底の名詞)がどのような姿かということが修飾部「宮女たちが群って水を掬み、布を洗っていた」から分かれると述べている。このことから、寺村(1992)は「内の関係」で結びついている連体修飾構造では修飾部が底の名詞を「付加的」に修飾しているに過ぎないが、「外の関係」では修飾部が底の名詞を「内容補足的」に修飾していると論じている。また「外の関係」には、次の(9)、(10)のように二つのタイプがあるとしている。

(9) 女房の幽霊が三年目にあらわれる話

(10) 火事が広がった原因は空気が乾燥していたことだ。 (寺村 1992:199)

二例の修飾部に「ものだ」、「(という)ことだ」を補うと、(9)の構文は「その話は女房の幽霊が三年目にあらわれるものだ」と意味的に対応するに対して、(10)の構文は「原因は、火事が広がったことだ」と意味的に対応せず、「原因」の内容を表しているのは修飾部ではなくその後続く「空気が乾燥していたこと」としている。寺村(1992)は(9)のように、修飾部が底の名詞の内容そのものをいわば正面から補充し、表す「ふつうの内容補充」の場合と、(10)のように修飾部が底の名詞が本来的に相対する概念の内容を表す「相対的補充」の場合があることを論じている。

以上の連体修飾構造の内容を寺村(1992)は次のように整理している。

{	内の関係 = 付加的修飾 外の関係 = 内容補足的修飾	{	ふつうの内容補充 相対的補充	(寺村 1992:202)
---	--------------------------------	---	-------------------	---------------

本研究では、感情形容詞の連体用法のタイプを寺村(1992)に基づき「内の関係」と「外の関係」に分け、連体修飾節と被修飾名詞の統語的な面からも日本語と韓国語の感情形容詞の連体用法の共通点と相違点について論じる。

ここからは、形容詞の連体用法の分類に関する先行研究を見ていく。宮島(1995)は、形容詞の連体修飾を[性質規定]、[間接的性質規定]、[対象についての規定]、[性質のあらわれの規定]、[気もち規定]、[内容規定]、[状況の具体化]の7つに分類している。以下、宮島(1995:17-24)の7つの分類を整理しておく。

- ①[性質規定]は、大部分のばあいはこちらにあたり、例に「大きな人²」がある。
- ②[間接的性質規定]は、補語になるのは、部分または属性をあらわすものにかざられ、「活動家のおおい組合」(「活動家」は「組合」の部分)や「手の大きな人」などがある。
- ③[対象についての規定]には、「若の花の好きな料理」や「わたしのほしい本」などがある。まず、「なつかしい丘」の「なつかしい」は「しずかな丘」の「しずかな」とは、「なつかしい」が丘の性質というよりは丘についての人間の感情をあらわしている点で区別される。しかし、名詞をかざるという関係を問題にするかぎり、「なつかしい丘」を「しずかな丘」から区別して、ちがった範疇にいれなければならない根拠は、どうもみつからない。ところが、もっと客観的な属性というニュアンスがうすれて主体の感情という面がよくなると、「白い雪」や「しずかな丘」とはちがったわくにいい根拠が、かたちのうえにあらわれてくるし、その例が「若の花の好きな料理」や「わたしのほしい本」である。補語として固有名詞や代名詞が形容詞の前につき、「若の花」や「わたし」は「料理」や「本」の属性でも部分でもなく、「料理」や「本」に対するある感情のもちぬしである。
- ④[性質のあらわれの規定]には、「無邪気な眼」や「無邪気な笑声」などがあり、これらはその無邪気さがよくあらわれているという意味になる。
- ⑤[気もち規定]には、「編物の好きな女」や「文字に親しむ事の大嫌ひな葉子」などがあり、実例もすき～きらいのものがほとんどである。
- ⑥[内容規定]には、「白い色」や「悲壮な心地」などがある。「白い色」で「白い」は、「色」のいくつかある属性のうちの1つをしめしているというのではなくて、「色」という性質の内容そのものをしめしている。また、気もちをあらわす形容詞の場合には「悲壮な心地」のように気もちをあらわす名詞がかざられになって内容規定の関係をつくる。このタイプは「1) 属性」(白い色)と「2) きもち」(悲壮な心地)に分かれる。
- ⑦[状況の具体化]には、「若い時」や「小さい時」などがあり、これらは「動物の若い時」、

² 二重下線は筆者による。

「かれの若い時」、「義経の若い時」のように代名詞でも固有名詞でも、自由につくし、「動物」などの補語と「時」というかざられとの関係はきわめてうすい。

次に、村上(2017)は、感情形容詞のみを対象にその連体用法における感情形容詞と被修飾名詞の意味的關係を[対象]、[経験者]、[とき]、[内容]、[表出物]、[相対補充]、[その他]の7つに分類している。以下、村上(2017:159-172)の7つの分類を整理しておく。

- ①[対象]は、被修飾名詞が感情形容詞で表される感情を引き起こすもので、「悲しい思い出」(被修飾名詞が事柄の場合)や「懐かしい人」(被修飾名詞が人間の場合)などがある。「思い出」や「人」は、「悲しい」や「懐かしい」という感情を引き起こすものであり、それぞれが「悲しい」、「懐かしい」という感情を引き起こす属性を持っている。
- ②[経験者]は、被修飾名詞が感情形容詞で表される感情の持ち主となる関係で、「不安な人」(被修飾名詞が人間)や「大学の卒業生をほしい政府機関や国営企業」(被修飾名詞が組織)などがある。
- ③[とき]は、被修飾名詞が感情形容詞によって表される感情が存在するときを表すもので、「私がつらい時」(経験者が共起した例)、「生きるのが辛いとき」(対象が共起した例)、「つらい時」(経験者も対象も共起しない例)がある。
- ④[内容]は、修飾部(形容詞または形容詞節)が被修飾名詞の内容を述べるという関係のもので、「悔しい気持ち」や「不安な気分」などがある。これらは形容詞が被修飾名詞「気持ち」や「気分」の内容を具体的に述べるものである。さらに、「人が楽しんでいることを自分がわからないでいるのは悔しい夕チ」、「人に迷惑をかけるのがいやな性分」の「たち」、「性分」といった人間がもつ心理的な特性を意味する語や、「電車でもコンビニでも、外の気温はお構いなしに涼しい現実」、「初産婦よりも経産婦の方が、つわりが軽い傾向」の「現実」や「傾向」も[内容]である。
- ⑤[表出物]は、被修飾名詞が、経験者が感情形容詞で表される感情を持っている時に、経験者から発せられるもので、「苦しい顔」(「顔」、「表情」、「目」など)、「悲しい声」(「声」、「悲鳴」、「叫び」、「涙」など)、「楽しい様子」(「様子」、「ふり」など)がある。
- ⑥[相対補充]は、「不安な理由」や「よい助言者がほしいゆえん」のようなものである。この「理由」や「ゆえん」は感情の対象ではなく、「不安であるその理由」、「よい助言者がほしいそのゆえん」という関係である。また、「忙しい合間」や「忙しい暇」も「忙しいその合

間]、「忙しいその暇」という相対補充の関係である。

- ⑦[その他]は、主に被修飾名詞が形式名詞で、「有り難いはず」や「羨ましい限り」などがある。また、「さみしい気がする」の「気」も[その他]に分類する。

また、村上(2017)はこれらの7つのタイプを統語的に見て、[対象]、[経験者]、[とき]はウチの関係に、[内容]、[表出物]、[相対補充]、[その他]はソトの関係に分類している。

続いて、張(2019)は宮島(1995)と村上(2017)の分類を踏まえ、形容詞の連体修飾の関係を[属性の持ち主]、[感情の対象]、[感情主体]、[感情の表出物]、[属性概念]、[感情概念]、[事柄概念]、[とき・状況]、[相対補充概念]、[その他]の10タイプに分類している。以下、張(2019:247-252)の10タイプの分類を整理しておく。

- ①[属性の持ち主]では、形容詞または形容詞節が属性を、被修飾名詞が属性の持ち主を表し、「スケールの大きい未来プラン」(属性形容詞の例)、「楽しいイベント」(感情形容詞の例)、「面白い考え方」(評価形容詞の例)などがある。なお、形容詞1語による修飾(「楽しいイベント」)はaタイプ、「名詞+ノ/ガ+形容詞」による修飾(「スケールの大きい未来プラン」)はbタイプとする。さらにbタイプは、「名詞+ノ/ガ」を取り除いても意味がほとんど変わらないもの(「テンポの速い二拍子系の舞曲」)をb-1タイプ、「名詞+ノ/ガ」を取り除くと意味がまったく異なるもの(「思い入れの深いもの」)をb-2タイプとする。このタイプは村上(2017)の[対象]の多くに対応し、aタイプは宮島(1995)の[性質規定]に、bタイプは宮島(1995)の[間接的性質規定]に対応する。
- ②[感情の対象]には、「自分が³とても好きな分野」、「私にとってはうれしい朝寝坊事件」、「若者には大変ありがたいこと」などの例があり、これらは感情主体が明示されていることで、個人一人のニュアンスが捨象されえず、物事の属性としての解釈がされにくい。「感情主体+ノ/ガ/ニ(ハ)/ニトツテ(ハ)+形容詞」の例はすべてこのタイプに入れる。このタイプは宮島(1995)の[対象についての規定]、村上(2017)の[対象]より指す範囲が広い。
- ③[感情主体]では、形容詞が感情を持つ主体の感情を、被修飾名詞が感情の主体を表し、「嬉しい紗南」(感情形容詞の例)や「箸が転んでもおかしい学部の五人」(評価形

³ 波線は筆者による。

容詞の例)などがある。このタイプは宮島(1995)の[きもち規定]と村上(2017)の[経験者]に対応する。

- ④[感情の表出物]では、被修飾名詞が人間の「顔」、「声」などで、形容詞が被修飾名詞から読み取る感情を表し、「嬉しい悲鳴」、「悲しい顔」などがある。このタイプは宮島(1995)の[性質のあらわれ規定]と村上(2017)の[表出物]に対応する。
- ⑤[属性概念]には、「大きいサイズ」や「予想より早いスピード」などがあり、被修飾名詞の「サイズ」、「スピード」はいずれも物事が有するさまざまな属性の名称で「大きい」、「早い」はそれぞれの属性の内容を表す。このタイプは宮島(1995)の[内容規定 1)属性]に対応する。
- ⑥[感情概念]には、「嬉しい気分」や「悲しい思い」などがあり、被修飾名詞の「気分」、「思い」はきもち、感情類の名詞で、形容詞「うれしい」、「悲しい」はその感情の中身、具体的な内容を表す。このタイプは宮島(1995)の[内容規定 2)きもち]、村上(2017)の[内容]の一部に対応する。
- ⑦[事柄概念]には、「それほど容量が大きい必要」や「腸がちぎれるほど悲しいこと」などがあり、被修飾名詞は「必要」、「こと」などきわめて抽象的な事柄を表すものであり、修飾する形容詞節は、いわば体言化した形容詞述語文であって、被修飾名詞の事柄の具体的な内容を示す。村上(2017)での[内容]の分類の例「紙の使用量は文化のバロメータといった時代が懐かしい感じ」の「感じ」がこのタイプに当てはまる。
- ⑧[とき・状況]では、被修飾名詞は「とき」、「状況」、「場合」などであり、形容詞または形容詞節はそのとき、その状況に存在する物事の状態または人間の感情などを表し、「風が強いとき」、「おかしいとき」、「悲しい時」、などがある。このタイプは宮島(1995)の[状況の具体化]、村上(2017)の[とき]の一部に対応するが、被修飾名詞が時を表す名詞でも、修飾部分はその属性を表すと解釈できる例は①[属性の持ち主]タイプに入れている点で、二者と比べて範囲が狭い。
- ⑨[相対補充概念]は、寺村(1975)⁴における「相対補充節」の考えに基づいた分類であり、「小さい上に」や「嬉しい反面」などがある。このタイプは村上(2017)の[相対補充]に対応する。ただ、「上」、「反面」は村上(2017)と違ってこのタイプに分類する。
- ⑩[その他]は、上の 9 つのタイプに収まりきらないものを入れたものであり、「大きいは

⁴ 寺村秀夫(1975)「連体修飾のシンタクスと意味—その 1—」『日本語・日本文化』4 大阪外国語大学留学生別科(『寺村秀夫論文集 I—日本語文法偏—』1992 くろしお出版)所収

ず」や「哀れなことに」などがある。このタイプは村上(2017)の[その他]に一部対応する。

以上、感情形容詞の連体用法に関して宮島(1995)、村上(2017)、張(2019)の分類を見たが、先行研究では次の(11)のようなものがどのように分類されるかについては特に言及されていない。

- (11) だが、離れることが寂しい町は、そのひとにとってのふるさとなのだとも思う。
(重松清『熱球』)

(11)は、一見宮島(1995)の[性質規定]、村上(2017)の[対象]、張(2019)の[属性の持ち主]のようであるが、「離れることが寂しい町」は「寂しい町」とは異なる構造を持つため、別々のタイプに分類する必要がある。「寂しい町」は「この町(の雰囲気)は寂しい」を連体修飾にしたもので、「寂しい」は町の属性を表すのに対し、「離れることが寂しい町」は「(私は)町から離れることが寂しい」を連体修飾にしたもので、「寂しい」は町から離れることに対する感情主体の感情表出を表すという違いがある。前者は「*寂しいトイウ町」とは言えないのに対し、後者は「離れることが寂しいトイウ町」のように言えることから、構文的に異なることが分かる。そこで本研究では前者のような連体用法を[属性規定の対象]、後者のような連体用法を[感情表出の対象]と呼んで区別することにする。

2.2 韓国語の感情形容詞の連体用法に関する先行研究

양(2014)は、韓国語と中国語の心理形容詞の文法的特性を対照したもので、韓中の心理形容詞の連体用法の特徴について論じている。양(2014:41-42)は、核(修飾される体言)の意味特性によって、韓国語の心理形容詞の連体用法を5つに分類している。

- ① 核が[심리 정서의 주체(心理情緒の主体)]の場合
例:「외로운 정희」(寂しいジョンヒ)、「슬픈 어머니」(悲しいお母様)
- ② 核が[심리 감정의 개념어(心理感情の概念語)]の場合
例:「불안한 마음」(不安な心)
- ③ 核が[심리 정서의 외재 표현 방식(心理情緒の外的表現方式)]の場合

例:「행복한 표정」(幸せな表情)、「쓸쓸한 미소」(寂しい笑み)

④ 核が[심리 정서를 유발하는 원인(心理情緒を誘発する原因)]の場合

例:「놀라운 경험」(素晴らしい経験)

⑤ 核が[심리 정서가 존재하는 시간이나 공간(心理情緒が存在する時間や空間)]
の場合

例:「행복한 세상」(幸せな世の中)、「억울하고 슬픈 세월」(恨めしく悲しい歲月)

このように、양(2014)は被修飾名詞の意味特徴に注目し、心理形容詞の連体用法を分類しているが、次のように양(2014)の5つの分類では説明できない例もある。

(12) 지난 일년간 나는 참 외로운 투자를 했고 혼자라는 외로움만큼이나 두려움 속에 매매를 했었다.”(한겨레신문 2003 년 기사)

(この1年間私は*寂しい投資をして一人だという寂しさと同じくらいの不安の中で売買をしていた。)

(13) 도무지 즐겁지가 않았다. 파도처럼 꾸역꾸역 밀려오는 슬픈 그리움 때문이었다.(정도상 『날지 않으면 길을 잃는다』)

(どうも楽しくなかった。波のようにぞくぞく押し寄せてくる*悲しい懐かしさのせいだった。)

(12)の「외로운 투자(寂しい投資)」は「寂しい」ときに行う「投資」を意味し、(13)の「슬픈 그리움(悲しい懐かしさ)」は「悲しい」気分を伴った「懐かしさ」を意味する。

以上、本研究では、(12)、(13)についても視野に入れて、感情形容詞の連体用法の分類を再検討する。

2.3 先行研究のまとめと問題点

ここまでは日韓両言語の感情形容詞の連体用法に関する先行研究を見てきたが、次のような問題点がある。

まず、日本語の感情形容詞の連体用法について、従来の分類では、「離れるのが寂しい町」と「寂しい町」が同じタイプにされているが、前者は「(私は)町から離れるのが寂しい」のように「寂しい」が「町」に対する感情表出を表すが、後者は「町は寂しい」のように「寂しい」

が「町」の属性を表す点で、両者の「寂しい」と「町」の意味関係は異なっており、それをさらに分類する必要がある。

次に、韓国語の感情形容詞の連体用法についても、「외로운 투자(*寂しい投資) (= 寂しい状態で行う投資)、「슬픈 그리움(*悲しい懐かしさ) (= 悲しい気分を伴った懐かしさ)のような意味関係も含め分類を行う必要がある。

日本語と韓国語の感情形容詞の連体用法において、「외로운 투자(*寂しい投資) (= 寂しい状態で行う投資)と「슬픈 그리움(*悲しい懐かしさ) (= 悲しい気分を伴った懐かしさ)のようなタイプが日韓で対応しないという違いがある。その違いを見ることにより、感情形容詞が被修飾名詞の内容を補充する修飾関係において、韓国語が日本語よりその補い方がより多様であることを明らかにする。

3. 連体用法の 11 タイプ

本研究では、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)と世宗コーパス、インターネットの実例から観察された感情形容詞の連体用法を[感情主体]、[感情表出の対象]、[属性規定の対象]、[感情の存在する時]、[感情の存在する空間]、[内面]、[相対的補充]、[表出物]、[感情と同時進行]、[中心的感情]、[その他]の 11 タイプに分類した。これらを統語的な面から見ると、[感情主体]、[感情表出の対象]、[属性規定の対象]、[感情の存在する時]、[感情の存在する空間]の 5 つのタイプは内の関係に、[内面]、[相対的補充]、[表出物]、[感情と同時進行]、[中心的感情]、[その他]の 6 つのタイプは外の関係に分類される。このうち[感情表出の対象]と[属性規定の対象]は村上(2017)の[対象]をさらに二つに分けたもので、[感情と同時進行]と[中心的感情]は新しくタイプを立てたものである。

3.1 [感情主体]

[感情主体]は、被修飾名詞が感情主体を表すものである。(14)～(16)の「うれしい娘とおくさん」、「心情が辛い人」、「革命が恐ろしい既成世代」は「娘とおくさんがうれしい」、「その人が心情が辛い」、「既成世代が革命が恐ろしい」を連体修飾にしたもので、「娘とおくさん」、「人」、「既成世代」は感情主体を表している。

(14) 夏で体重が減ってうれしい娘とおくさん(기쁜 딸과 어머니) (Yahoo!ブログ)

(15) 범인으로 몰려 심정이 괴로운 사람에게 가족들이 입원하고 있다고

말하기는 참으로 어려울 것 같았다.(김지용 『보이지 않는 나라』)

(犯人と決め付けられ、心情がつらい人に家族たちが入院していると言うのは実に難しそうだった。)

(16) (略)“그로부터 18 년 오랜 만에/우리는 모두 무엇인가 되어/혁명이 두려운 기성 세대가 되어/넥타이를 매고 다시 모였다/(略) (김병익 『두 열림을 향하여』)

(それから18年ぶりに/私たちは皆何かになり/革命が恐ろしい 既成世代になり/ネクタイを締めて再び集まった/)

このタイプは宮島(1995)の[気もち規定]、양(2014)の[심리 정서의 주체(心理情緒の主体)]、村上(2017)の[経験者]、張(2019)の[感情主体]に対応し、日韓ともに使われる用法である。

3.2 [感情表出の対象]

[感情表出の対象]は、被修飾名詞が感情主体の感情の対象(モノ・コト)になるものである。(17)～(19)の「嬉しいプレゼント」、「有難い校区の人々」、「恥ずかしい言葉」は「(私は)プレゼントが嬉しい」、「(私は)校区の人々が有り難い」、「(私は)言葉が恥ずかしい」を連体修飾にしたもので、「プレゼント」、「校区の人々」、「言葉」は感情主体の感情表出の対象を表している。これらは、「プレゼントで(私が)嬉しくなる」、「校区の人々(の支え)で(私が)有り難くなる」、「言葉で(私が)恥ずかしくなる」のように表すことができ、対象が感情主体の感情を引き起こす誘因となっている。

(17) 家に帰ってきたらとっても嬉しいプレゼント(기쁜 선물)が届いていました。

(Yahoo!ブログ)

(18) 沢山の有難い校区の人々(고마운 교구사람들)に支えられている幸せを感じます。(中島俊彦『人生意気に感ず』)

(19) 女性にとってはこの世で一番恥ずかしい言葉(부끄러운 말)だったりするのでしょうか?(Yahoo!知恵袋)

このタイプは양(2014)の[심리 정서를 유발하는 원인(心理情緒を誘発する原因)]や

村上(2017)の[対象]の一部に対応し宮島(1995)の[対象についての規定]や張(2019)の[感情の対象]より範囲が広く、日韓ともに使われる用法である。

3.3 [属性規定の対象]

[属性規定の対象]は、被修飾名詞が対象(モノ・コト)で、感情形容詞がその属性を表すものである。(20)～(22)の「楽しい詩」、「哀しい女の性」、「恥ずかしいライブ」は「詞(の内容)は楽しい」、「女の性は哀しい」、「ライブ(の質)は恥ずかしい」を連体修飾にしたもので、それぞれの感情形容詞が「詩」、「女の性」、「ライブ」の属性を表している。

(20) この作品は集英社文庫の『わらべうた』のなかにあるものですが、この本のなかにはこのほかにも「けんかならこい」「わるくちうた」「きりなしうた」「ないないづくし」など、楽しい詩(즐거운 시)がいっぱいあって、詩の暗唱の導入にとても役立ちます。(学力の基礎をきたえ落ちこぼれをなくす研究会編『だれでもできる学力づくり』)

(21) 「夫や恋人をあやめたとか、男女関係のもつれで罪を犯した人も多く収容されていて、それでもって周りは女性ばかり。とても男の人を恋しがっている。私がコート脱ぐと、『私がやります』と言ってハンガーに掛けてくれるんですが、さりげなくコートのおいをかぐんです。それを見て、なんて哀しい女の性(슬픈 여자의 천성)なんだろうと…」(二居隆司『手紙の力』)

(22) 「でも、ずっと昔から応援してくれてる加藤さんってイベンターさんが福岡にいて、彼には恥ずかしいライブ(부끄러운 라이브)は見せられないっていつも話してて。(HISASHI/Jiro/TERU/Takuro『Glady“groovy”』)

これらは「みんなに{詩は楽しい/女の性は哀しい/ライブは恥ずかしい}と受け入れられる」という意味を持ち、これらの感情形容詞は「詩」、「女の性」、「ライブ」の属性を表す意味合いが強いと考えられる。対象が「感情表出」を表すか「属性」を表すかは連続性が強いもので、[属性規定の対象]と[感情表出の対象]の二つのタイプは連続していると思われる。

このタイプは宮島(1995)の[性質規定]、[間接的性質規定]や村上(2017)の[対象]や張(2019)の[属性の持ち主]の一部に対応し、日韓ともに使われる用法である。

3.4 [感情の存在する時]

[感情の存在する時]は、被修飾名詞が感情の存在する時を表すものである。(23)～(25)の「辛い夜」、「つらい日々」、「嬉しいとき」は「(私は)その夜に辛い(と感じた)」、「(私は)その日々につらい(と感じた)」、「(私は)そのときに嬉しい(と感じた)」を連体修飾にしたもので、「夜」、「日々」、「とき」は感情が存在する「時」を表している。また、「*夜は辛い」のように感情形容詞が被修飾名詞の属性を表せないという特徴がある。

(23) 챔피언·팀은 敗北을 認めなければ ならない 辛い夜(괴로운 밤)을 過ごす ことになった。(中部博 『光の国のグランプリ』)

(24) 그러나 자신이 수술을 허락해 딸이 죽었다는 죄책감으로 괴로운 나날을 보내고 있다。(동아일보 2001년 기사: 생활과학)
(しかし自分が手術を許して娘が死んだという罪悪感でつらい日々を送っている。)

(25) 기쁜 때나 건강한 때나 부유한 때 서로 함께 즐거워한다는 일도 쉬운 일이 아니지만(略)(김동길, 유안진他 『결혼과 성』)
(嬉しいときや元氣なときや裕福なときお互いに一緒に楽しむということもたやすいことではないが)

このタイプは、宮島(1995)の[状況の具体化]、양(2014)の[심리 정서가 존재하는 시간이나 공간(心理情緒が存在する時間や空間)]、村上(2017)の[とき]の一部と張(2019)の[とき・状況]に対応し、日韓ともに使われる用法である。

3.5 [感情の存在する空間]

[感情の存在する空間]は、被修飾名詞が感情の存在する空間を表すものである。(26)～(28)の「さみしい洞窟」、「寂しい他国」、「寂しい書齋」は「(私は)洞窟でさみしい(と感じた)」、「(私は)他国で寂しい(と感じた)」、「(私は)書齋で寂しい(と感じた)」を連体修飾にしたもので、「洞窟」、「他国」、「書齋」は感情が存在する「空間」を表している。それと同時に、このタイプでは「洞窟がさみしい」のように感情形容詞が被修飾名詞の属性を表せる点で[感情の存在する時]と区別される。

(26)妖精はその恋を拒まれたため、「森にひそみ、恥ずかしい顔を木の葉で隠し、それ

以来、さみしい洞窟(외로운 동굴)に暮らしている。(ニルダ・グリエルミ著;谷口勇
訳 『『バラの名前』とボルヘス』)

(27) 공 아저씨 쪽에서도 외로운 남의 나라에서 기무라씨와 서로 친하게
지내는 것이 다행한 일이었습니다.(권정생 『사과나무밭 달님』)

(ゴンおじさんの方でも寂しい他国でキムラさんと親しく過ごすことが幸いなこと
でした。)

(28) 포가 외로운 서재에 앉아 밤 깊도록 옛 책을 상고할 때 폭풍은 와 문을
열어젖뜨렸고(略)(이태준 『해방전후』)

(ポが寂しい書齋に座って夜遅くまで昔の本を詳考するとき、嵐は門を開け放ち)

このタイプは양(2014)の[심리 정서가 존재하는 시간이나 공간(心理情緒が存在する時間や空間)]の一部に対応し、日韓ともに使われる用法である。

3.6 [内面]

[内面]は、被修飾名詞が感情の上位語で、感情形容詞でその具体的な感情内容を表すものである。(29)、(30)の「羨ましい気持」、「はずかしい思い」は「気持」と「思い」が感情の上位語で、感情形容詞によってその内容が限定されている。このタイプでは「*気持が羨ましい」、「*思いがはずかしい」のような格関係を持たない。

(29) 父親と娘とのそんな仲むつまじい姿を私は少し羨ましい気持(부러운 마음)で眺
めました。(遠藤周作 『ペン先の殺意』)

(30) 顔見知りだからこそ、余計ははずかしい思い(부끄러운 생각)をなさると思います。
(童門冬二 『夜明け前の女たち』)

このタイプは村上(2017)の[内容]の一部と宮島(1995)の[内容規定 2)きもち]、양(2014)の[심리 감정의 개념어(心理感情の概念語)]、張(2019)の[感情概念]に対応し、日韓ともに使われる用法である。

3.7 [相対的補充]

[相対的補充]は、寺村(1992)の[相対的補充]の関係で、被修飾名詞が感情形容詞

(節)に相對する概念を表すものである。例えば、(31)の「頭が痛い原因」において、「頭が痛い」は「原因」の内容ではなく、「原因」に相對する概念である「結果」の内容である。「原因」の内容は「お金がないのを考えていたり、この話題」が表している。また、(32)の「(雨が)怖い理由」も同じように「(雨が)怖い」が「理由」の内容ではなく、「息をする暇のないその激しさ」が「理由」の内容を表している。

- (31) お金がないのを考えていたりこの話題とかも頭が痛い原因(머리가 아픈 원인)ではあると思う。(Yahoo!ブログ)
- (32) 쏟아지는 장대비. 그것이 무서운 이유는 숨 쉴 틈 없는 그 즐기참 때문이다.(『녹색평론』42 호)
(降り注ぐ土砂降りの雨。それが怖い理由は息をする暇のないその激しさのためだ)

このタイプは村上(2017)の[相對補充]や張(2019)の[相對補充概念]に對應し、日韓ともに使われる用法である。

3.8 [表出物]

[表出物]は、被修飾名詞が感情主体の感情の表れを示す表情や声を表すものである。(33)の「つらい顔」は「つらい」ときにする「顔」を、(34)の「嬉しい声」は「嬉しい」ときに出す「声」を表し、それぞれ「*顔がつらい」、「*声が嬉しい」のような格関係を持たない。

- (33) つらい顔(괴로운 얼굴)が見たかったら、抗がん剤やってるときに来いよ。
(西出真由美『がんばって！っていわないで。』)
- (34) “여기 굴이 있다!” 하고 조신은 기쁜 소리를 질렀다.(이광수『유정/꿈』)
(“ここに穴がある！”とジョシンは嬉しい声を叫んだ)

このタイプは、宮島(1995)の[性質のあらわれの規定]、양(2014)の[심리 정서의 외재 표현 방식(心理情緒の外的表現方式)]、村上(2017)の[表出物]、張(2019)の[感情の表出物]に對應し、日韓ともに使われる用法である。

3.9 [感情と同時進行]

[感情と同時進行]は、被修飾名詞が感情主体が何らかの感情を感じながら行う行為を表すものである。(35)～(37)の「기쁜 포옹(嬉しいハグ)」、「외로운 결정(寂しい決定)」、「외로운 행진(寂しい行進)」は「嬉しい」中で行う「ハグ」、「寂しい」中で行う「決定」、「寂しい」中で行う「進行」を表し、「*포옹이 기쁘다(*ハグが嬉しい)」、「*결정이 외롭다(*決定が寂しい)」、「*행진이 외롭다(*行進が寂しい)」のような格関係を持たない。

(35) 우선 사장님과 한달여 만의 재회에 기쁜 포옹을 하고 오피의 증세에 대해 말씀 드립니다... (<https://cafe.naver.com/koreacng/69199>)

(まず社長と一カ月ぶりの再会で*嬉しいハグを交わしオピの症状について申し上げます…)

(36) (略)대통령은 국가적 영향을 종합적으로 고려해 홀로 외로운 결정을 내리게 된다.(조선일보 오피니언(2002))

(大統領は国家的影響を総合的に考慮して一人で*寂しい決定を下すことになる。)

(37) 내 한 깃발을 주워 흔들어 보리라. 외로운 행진을 할 것이다.(이어령 『나를 찾는 슬래잡기』)

(私一つの旗を拾って振ってみよう。*寂しい行進をするだろう。)

このタイプは先行研究では扱われておらず、日本語では不自然であるが韓国語では自然である点で特徴がある。

3.10 [中心的感情]

[中心的感情]は、被修飾名詞が他の感情を伴う具体的な感情を表すものである。次の(38)～(40)の「외로운 우울(*寂しい憂鬱)」、「슬픈 외로움(*悲しい寂しさ)」、「슬픈 원한(*悲しい恨み)」は「寂しい」という感情を伴った「憂鬱」、「悲しい」という感情を伴った「寂しさ」、「悲しい」という感情を伴った「恨み」を表し、「*우울이 외롭다(*憂鬱が寂しい)」、「*외로움이 슬프다(*寂しさが悲しい)」、「*원한이 슬프다(*恨みが悲しい)」のような格関係を持たない。

(38) …아빠의 눈빛에서 결코 지워지지 않는 그 외로운 우울을 이해할 정도로

저두 자랐단 말예요 아세요?(정은사 『그것이 우리의 사랑이었네』)

(…父さんの目から決して消えないその*寂しい憂鬱を理解できるほど私も大きくなったんですよ分かりますか?)

(39) (略) 혼자 사는 어린이들은 혼자 사는 어른들보다 더 깊고 더 슬픈 외로움을 느낀다.(김동길, 유안진他 『결혼과 성』)

(一人で住む子どもたちは一人で住む大人たちよりもっと深くもっと*悲しい寂しさを感じる。)

(40) (略) 심지어는 수세하러 온 나졸에게서 모옥까지 받았으니, 땅 파먹는 일반 백성의 억울하고 슬픈 원한을 어찌 모르랴.(황석영 『장길산 3』)

(甚だしくは収税に来た邏卒から侮辱まで受けたのだから、土を掘る一般民の悔しくて*悲しい恨みをどうして分からないだろうか。)

他にも「슬픈 고독(*悲しい孤独)」、「즐거운 기쁨(*楽しい喜び)」、「슬픈 그리움(*悲しい懐かしさ)」などがあり、これらの表現は主に文学作品で使われる。このタイプは先行研究では扱われておらず、日本語では不自然であるが韓国語では自然である点で特徴がある。

3.11 [その他]

[その他]は、被修飾名詞が形式名詞で、被修飾名詞は感情形容詞と意味的關係を持たない。(41)、(42)の「恐ろしい限り」、「申し訳ないせい」は感情形容詞に被修飾名詞が接続した形であり、「*限りが恐ろしい」、「*せいが申し訳ない」のような格關係を持たない。

(41) まことに「娘は母に似て」で、おそろしい限り(두려운 한)です。

(土居善胤 『花かげの物語』)

(42) 그분의 울음이 내게 미안한 탓은 아니라고, 그분의 습관이라고들 했지만 내 어찌 죄송스럽지 않았으랴.(유안진 『내 영혼의 상처를 찾아서』)

(その方の涙が私に申し訳ないせいではないと、その方の習慣だとはいうが何ぞ縮ではなかろう)

このタイプは村上(2017)の[その他]や張(2019)の[その他]に対応し、日韓ともに使われ

る用法である。

以上、宮島(1995)、양(2014)、村上(2017)、張(2019)を踏まえながら、感情形容詞の連体用法の関係を整理した。これらの先行研究と本研究の分類の対応関係をまとめると図1のようになる。

図1 本研究と宮島(1995)、양(2014)、村上(2017)、張(2019)の連体修飾タイプの対応

宮島(1995)	양(2014)	村上(2017)	張(2019)	本研究
気もち規定	心理情緒の主体	経験者	感情主体	感情主体
性質規定	心理情緒を 誘発する原因	対象	属性の持ち主 a	属性規定の対象
間接的 性質規定			属性の持ち主 b-1 b-2	
対象について の規定			感情の対象	
状況の具体化	心理情緒が存在 する時間や空間	とき	とき・状況	感情の存在する時 感情の存在する空間
内容規定 2)きもち		内容	感情概念	内面
内容規定 1)属性	事柄概念			
	属性概念			
性質のあら われ規定	心理情緒の 外的表現方式	表出物	感情の表出物	表出物
		相対補充	相対補充概念	相対的補充
				感情と同時進行
				中心的感情
		その他	その他	その他

また、この 11 つのタイプについて、日本語と韓国語の対応を見ると表1のようになる。

表1 日本語と韓国語の感情形容詞の連体用法の 11 タイプの対応

		感情形容詞の連体用法のタイプ	日本語	韓国語
内の 関係	[感情主体]	被修飾名詞が感情主体を表すもの	○	○
	[感情表出 の対象]	被修飾名詞が感情主体の感情の 対象(モノ・コト)になるもの	○	○
	[属性規定 の対象]	被修飾名詞が対象(モノ・コト)で、 感情形容詞がその属性を表すもの	○	○
	[感情の存 在する時]	被修飾名詞が感情の存在する時を表すもの	○	○
	[感情の存 在する空間]	被修飾名詞が感情の存在する空間を表すもの	○	○
外の 関係	[内面]	被修飾名詞が感情の上位語で、感情形容詞で その具体的な感情内容を表すもの	○	○
	[相対的 補充]	被修飾名詞が感情形容詞(節)に 相対する概念を表すもの	○	○
	[表出物]	被修飾名詞が感情主体の感情の表れを示す 表情や声を表すもの	○	○
	[感情と 同時進行]	被修飾名詞が感情主体が何らかの感情を 感じながら行う行為を表すもの	×	○
	[中心的 感情]	被修飾名詞が他の感情を伴った 具体的な感情を表すもの	×	○
	[その他]	被修飾名詞が形式名詞の場合	○	○

「内の関係」と「外の関係」から見ると、[内の関係]の修飾は日韓で対応し、[外の関係]において[感情と同時進行]、[中心的感情]という修飾関係が日韓で対応しない。このことから、感情形容詞が被修飾名詞の内容を補充する修飾において、韓国語の方が日本語より修飾の仕方が多様であることが分かる。

4. まとめ

本研究では権(2018、2020)に続き、感情形容詞の終止用法以外の用法を対象にし、感情形容詞の連体修飾用法の分類と日本語と韓国語の対応関係について論じた。その結果、感情形容詞の連体用法は[感情主体]、[感情表出の対象]、[属性規定の対象]、[感情の存在する時]、[感情の存在する空間]、[内面]、[相対的補充]、[表出物]、[感情と同時進行]、[中心的感情]、[その他]の 11 タイプに分類できることを指摘した。このうち、[感情と同時進行](例:*嬉しいハグ/기쁜 포옹)と[中心的感情](例:*悲しい寂しさ/슬픈 외로움)の二つのタイプは、韓国語にはあるが日本語にはないことを明らかにした。

[参考文献]

- 権裕羅(2018)「日本語の感情形容詞と感情動詞の使役表現をめぐって」『日本語教育』第 86 輯, 韓国日本語教育学会, 15-29
- 権裕羅(2020)「感情・感覚形容詞の新しいミ形について—Twitter 上の使用に注目して—」『日本語教育』第 92 輯, 韓国日本語教育学会, 65-77
- 張舒鵬(2019)「形容詞の種類と連体修飾のあり方について」『言語・地域文化研究』第 25 号, 東京外国語大学大学院総合国際学研究, 243-258
- 寺村秀夫(1992)『寺村秀夫論文集 I —日本語文法編—』くろしお出版
- 宮島達夫(1995)「形容詞の名詞かざり」『現代日本語研究』第 2 号 大阪大学現代日本語学講座, 1-38
- 村上佳恵(2017)『感情形容詞の用法 現代日本語における使用実態』笠間書院
- 양려(2014)『한·중 심리형용사의 문법적 특성에 대한 대조연구』국민대학교修士論文

[使用データ]

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』国立国語研究所
(<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>)
- 『세종코퍼스(世宗コーパス)』国立国語院
(<https://ithub.korean.go.kr/user/corpus/corpusSearchManager.do>)